

2023年6月8日

化学のココロ。

GCI

GUN EI Chemical Industry

2023年3月期決算説明会資料

群栄化学工業株式会社

Gun Ei Chemical Industry Co., Ltd.

(証券コード：4229 プライム市場)

1. 会社概要

2. 2023年3月期 業績・財務概要

3. 2024年3月期 業績予想

4. 「GCIグループ中期経営方針2024」進捗

1. 会社概要

2. 2023年3月期 業績・財務概要

3. 2024年3月期 業績予想

4. 「GCIグループ中期経営方針2024」進捗

企業理念 化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、より豊かな未来社会創りに貢献する

社名	： 群栄化学工業株式会社 （略称  ）
本社所在地	： 群馬県 高崎市 宿大類町 700番地
代表者	： 代表取締役 社長執行役員 有田 喜一郎
設立	： 1946年1月23日（創業 78年目）
上場区分	： 東京証券取引所 プライム市場
資本金	： 50億円
従業員数※	： 526人（連結）
国内製造拠点	： 群馬、滋賀、岩手
国内販売拠点	： 群馬、東京、大阪
海外拠点	： タイ、インド、アメリカ、ドイツ



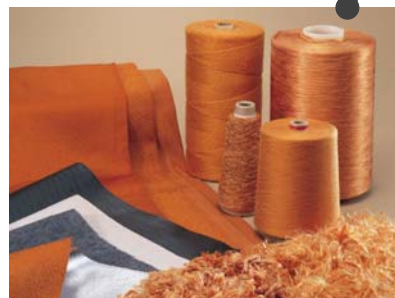
代表取締役 社長執行役員
有田 喜一郎

食品（澱粉糖、穀物糖化液 等）

- ・ 飲料、甘味
（清涼飲料、ビール系、菓子類）
- ・ 穀物ミルク原料
- ・ 化粧品原料



オーツミルクの素



高機能繊維カイノール
（フェノール樹脂繊維）

等

環境材料
5%

不動産活用業

1%

食品事業
18%

2023年3月期
連結売上高
313億円

化学品事業
81%

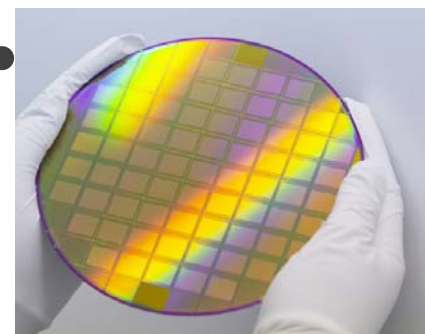
工業材料
51%

化学品（フェノール樹脂 等）

- ・ 電子材料
- ・ 工業材料
（自動車・機械・住宅・成形材料 他）
- ・ 環境材料（溶剤回収向けカイノール）

等

電子材料
25%



フォトレジスト用樹脂

内側：当社セグメント別売上高比率
外側：用途別売上高比率

化学品と食品の事業を併せ持つ
ユニークな「素材メーカー」です。

1. 会社概要

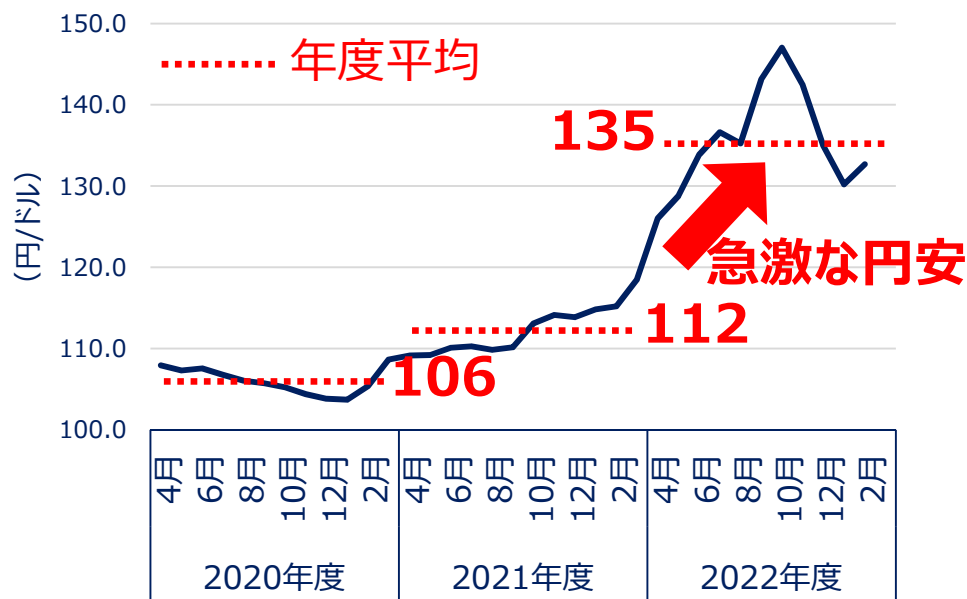
2. 2023年3月期 業績・財務概要

3. 2024年3月期 業績予想

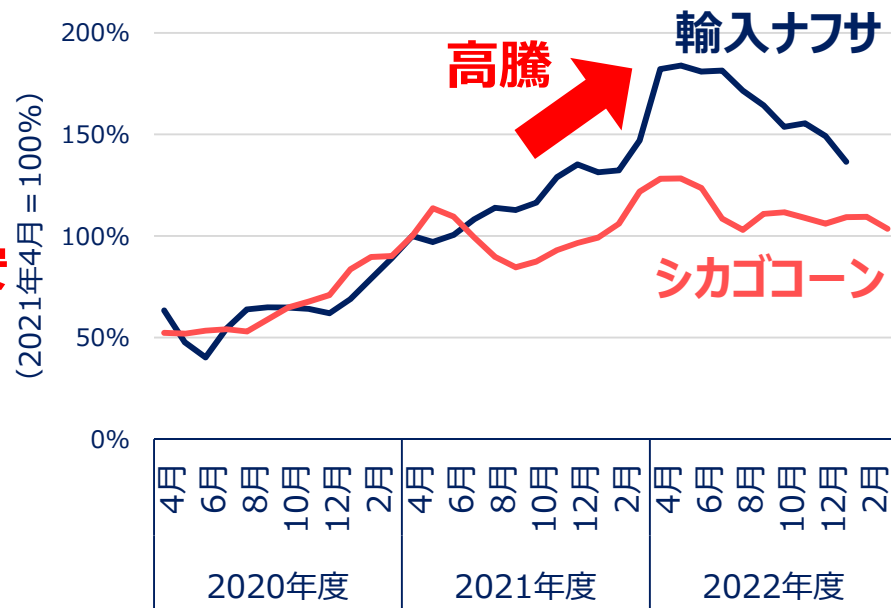
4. 「GCIグループ中期経営方針2024」進捗

世界経済	欧米を中心に景気の回復が見られたが、地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が継続
日本経済	感染症対策と経済活動の両立が進んだが、円安及び資源価格を始めとする物価の高騰、サプライチェーンの混乱による部品・半導体不足など厳しい状況で推移
為替	日米金利差拡大により円安が進行
原材料	化学品原料に由来するナフサ及び食品原料に由来するコーンの価格は、地政学的リスク、物流の混乱、円安の進行により、高騰後高値圏を推移

為替※1



ナフサ・シカゴコーン相場※2



※1 日本銀行より当社作成

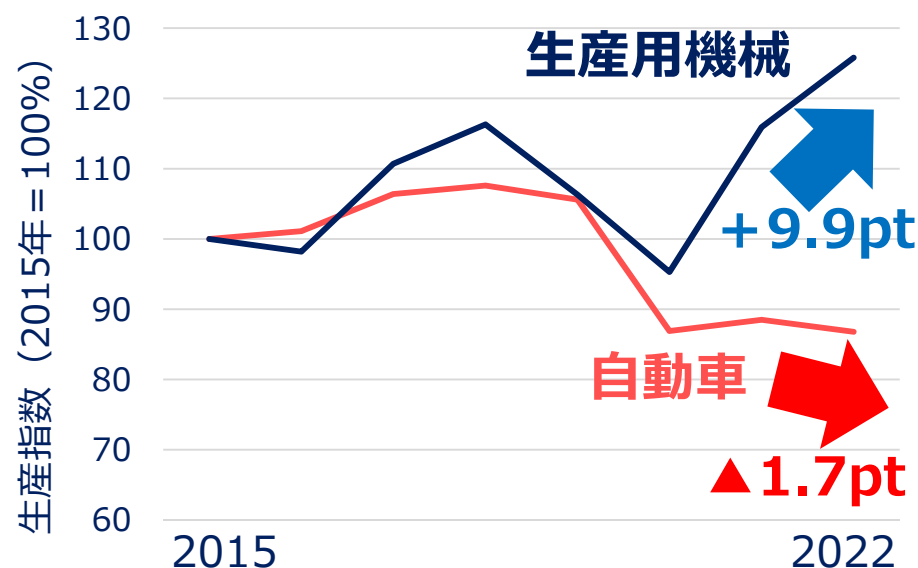
※2 財務省「貿易統計」、農林水産省「穀物等の国際価格の動向」より当社作成

半導体	2022年後半から急速に悪化
自動車	車載用半導体不足による減産が継続
機械	2022年は外需を中心に好調

世界半導体販売額※1



鉱工業生産指数※2



※1 WSTSより当社作成

※2 経済産業省「鉱工業 生産・出荷・在庫・在庫率指数」より当社作成

売上高	電子材料向けは低調も、工業・環境材料向けが堅調に推移 原材料等高騰分の価格転嫁を進め、初の300億円台を達成
営業利益	電子材料向け販売の低迷、海外子会社(工業材料)・食品事業の 価格転嫁が遅れたことにより、4期ぶりの減益

単位：百万円

	2022年3月期	2023年3月期	増減	増減率
売上高	29,406	31,390	+ 1,984	+ 6.7%
化学品	24,462	25,645	+ 1,183	+ 4.8%
食品	4,697	5,499	+ 802	+ 17.1%
不動産	247	246	▲ 1	▲ 0.4%
営業利益	2,489	1,659	▲ 830	▲ 33.3%
化学品	2,326	1,722	▲ 604	▲ 26.0%
食品	▲ 0	▲ 211	▲ 211	—
不動産	163	148	▲ 15	▲ 9.0%
経常利益	2,815	1,939	▲ 876	▲ 31.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,929	1,201	▲ 728	▲ 37.7%
売上高営業利益率	8.4%	5.2%	▲ 3.2pt	—

売上高要因

+19.9億円

電子材料	▲3.5億円
工業材料	+13.4億円
環境材料	+1.9億円
食品	+8.0億円

他

売上原価要因

▲27.8億円

原材料・エネルギー 価格の高騰	▲27.0億円
固定費の増加 (減価償却費・修繕費)	▲1.0億円

他

販管費要因

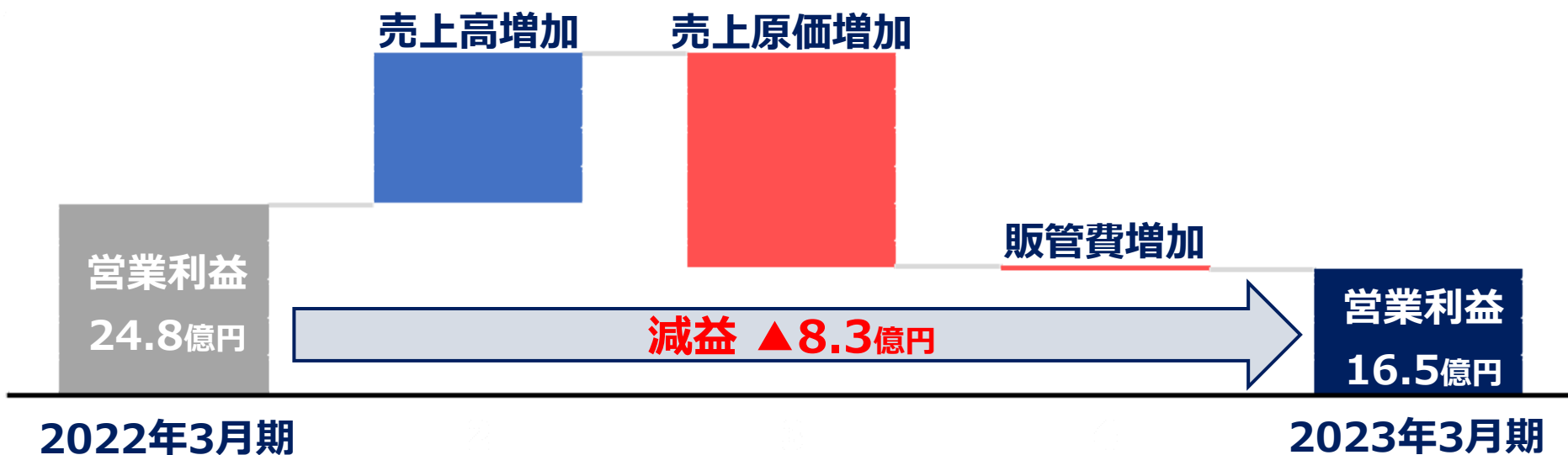
▲0.3億円

運送費の増加	▲0.3億円
--------	--------

他

青文字：増益要因

赤文字：減益要因



セグメント

2023年3月期 経営成績

化学品

【電子材料】上期堅調も4Qから急速に悪化

【工業材料】自動車・住宅向けは低調、建機・工作機械向けは堅調に推移

【環境材料】溶剤回収向け高機能繊維が引き続き堅調に推移

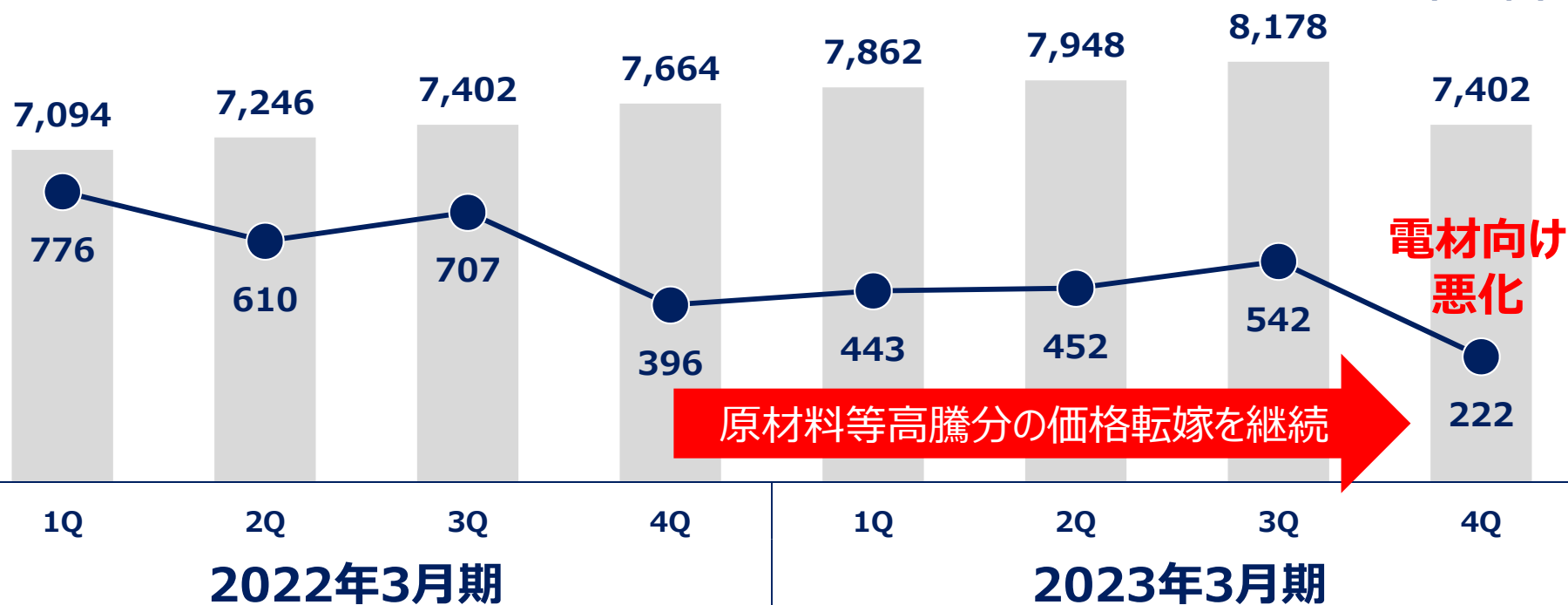
食品

行動制限の緩和、夏場の猛暑により清涼飲料向けは回復

巣ごもり需要終息により酒類向けは減少

■ 売上高 ● 営業利益

(百万円)



貸借対照表

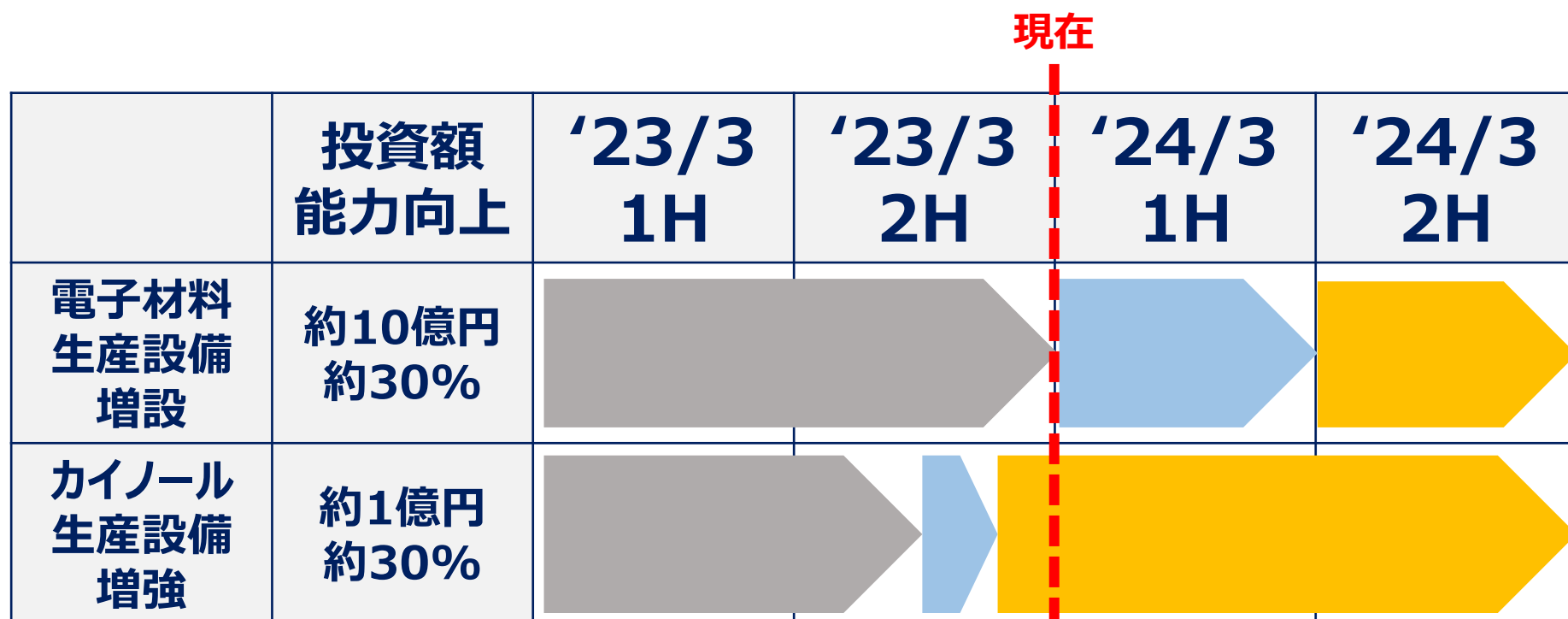
単位：百万円

	2022年3月期 期末	2023年3月期 期末	増減額	主な増減要因
流動資産	24,338	23,977	▲361	棚卸資産増加 有価証券減少
有形固定資産	19,164	19,004	▲160	機械装置減価償却
無形固定資産	259	118	▲141	のれん償却
投資その他の資産	10,917	11,500	+583	投資有価証券増加
流動負債	7,499	6,554	▲945	仕入債務減少 未払金減少
固定負債	2,280	1,938	▲342	退職給付負債減少
純資産	44,899	46,107	+1,208	利益剰余金増加
負債純資産合計	54,680	54,600	▲80	-

単位：百万円

	2022年3月期 期末	2023年3月期 期末	増減額	主な増減要因
営業CF	2,447	1,200	▲1,247	当期純利益減少 仕入債務減少
投資CF	▲942	▲2,465	▲1,523	有形固定資産取得 による支出増加
財務CF	▲746	▲687	+59	前期並み
換算差額	▲5	124	+129	-
増減額	753	▲1,826	-	-
現金及び現金同等物 期末残高	9,579	7,752	▲1,827	-

電子材料向け：予定通り進行中
環境材料向け：'23年3月期完了



工事

試運転・認証

生産開始

1. 会社概要

2. 2023年3月期 業績・財務概要

3. 2024年3月期 業績予想

4. 「GCIグループ中期経営方針2024」進捗

2024年3月期 市況見通し

電子材料 前期に引き続き低調、下期より回復を見込むも先行きは不透明

工業材料 自動車は半導体不足の影響は徐々に改善、機械は景気後退懸念から低調

環境材料 溶剤回収用途カイノール需要が引き続き堅調

食品 清涼飲料向けは引き続き堅調も、酒類向けは酒税法改正を控え低調

単位：百万円

	2023年3月期	2024年3月期 予想	増減	増減率
売上高	31,390	32,000	+ 610	+ 1.9%
営業利益	1,659	1,900	+ 241	+ 14.5%
経常利益	1,939	2,100	+ 161	+ 8.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,201	1,400	+ 199	+ 16.5%
売上高営業利益率	5.2%	5.9%	+ 0.7pt	-
為替（円/\$）	135	130	-	-
ナフサ（円/kL）	76,700	67,000	-	-

売上高要因

+6.1億円

工業材料	+5.4億円
環境材料	+3.3億円
食品	▲2.7億円

他

売上原価要因

▲4.1億円

固定費の増加 (減価償却費・修繕費)	▲4.0億円
-----------------------	--------

他

販管費要因

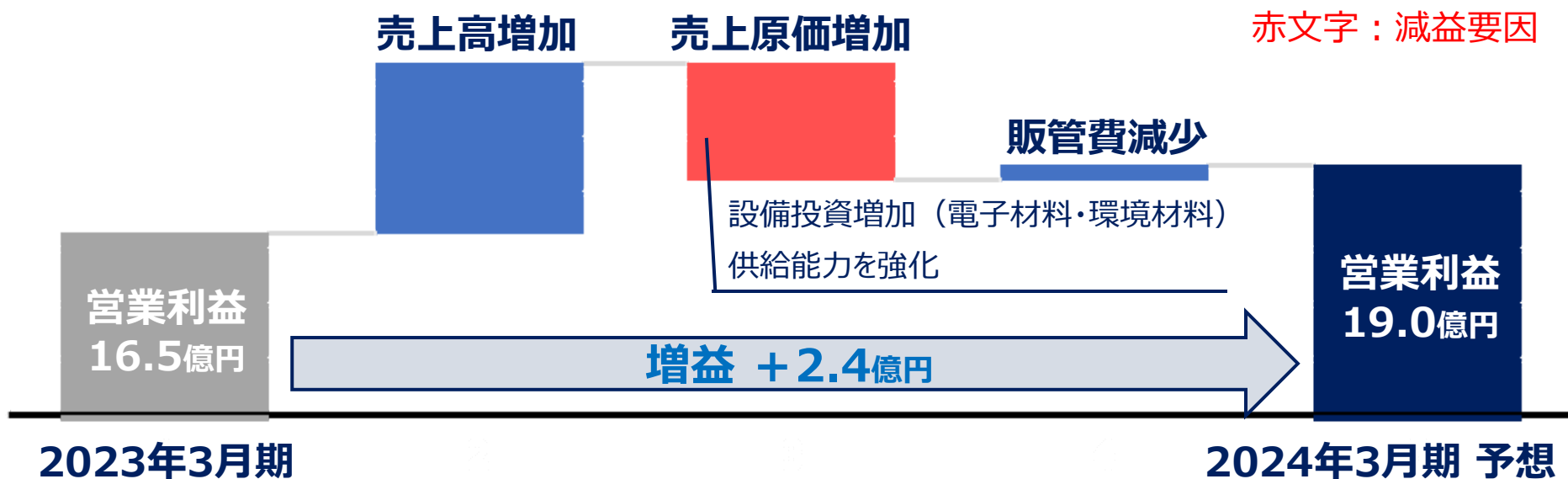
+0.4億円

のれんの減少	+1.0億円
光熱費の増加	▲0.6億円

他

青文字：増益要因

赤文字：減益要因



主なりスク 原油価格高騰や円安進行による原材料費、光熱費の増加 など

配当方針

1 株当たりの配当の向上に努め、配当性向 30%を目安に
安定的な配当を目指してまいります

1株当たり配当金額（円）

通期

期末

中間

決算期

配当性向
(%)

80

40

40

'18/3

35.0

80

40

40

'19/3

47.1

80

40

40

'20/3

40.2

80

40

40

'21/3

33.0

90

40

50

(記念配当10)

'22/3

30.9

90

45

45

'23/3

49.7

90

45

45

'24/3
(予想)

37.3

1. 会社概要

2. 2023年3月期 業績・財務概要

3. 2024年3月期 業績予想

4. 「GCIグループ中期経営方針2024」進捗

社是

節約・勤勉・合理主義

無駄を省き、理にかなった行動で、仕事をやりぬく

理念

化学の知識とアイデアでソリューションを提供し、
より豊かな未来社会創りに貢献する

長期ビジョン（ありたい姿）

合成・糖化技術の開発・再構築によりグローバルにソリューションを提供し、社会の持続的成長に貢献できる**“Green・Chemical・Industry(GCI)”**となる

基本方針

1. 新規事業創出のための基盤作り
2. サステナビリティを巡る課題への取り組み
3. 経営基盤の強化
4. 生産性向上、収益力強化

4つの目指す方向性

① 高純度・先端材料	② 環境対応ケミカル	③ 高機能糖ケミカル	④ 経営基盤強化
電材分野	Green分野		

数値目標

財務目標	2021 年度 (実績)	2024 年度 (目標)
売上高	294 億円	350 億円
営業利益	25 億円	40 億円
営業利益率	8.5 %	11 %

非財務目標	2030 年度 (目標)
CO ₂ 排出量 *	30 % 削減

*Scope 1・2, 2013年度比

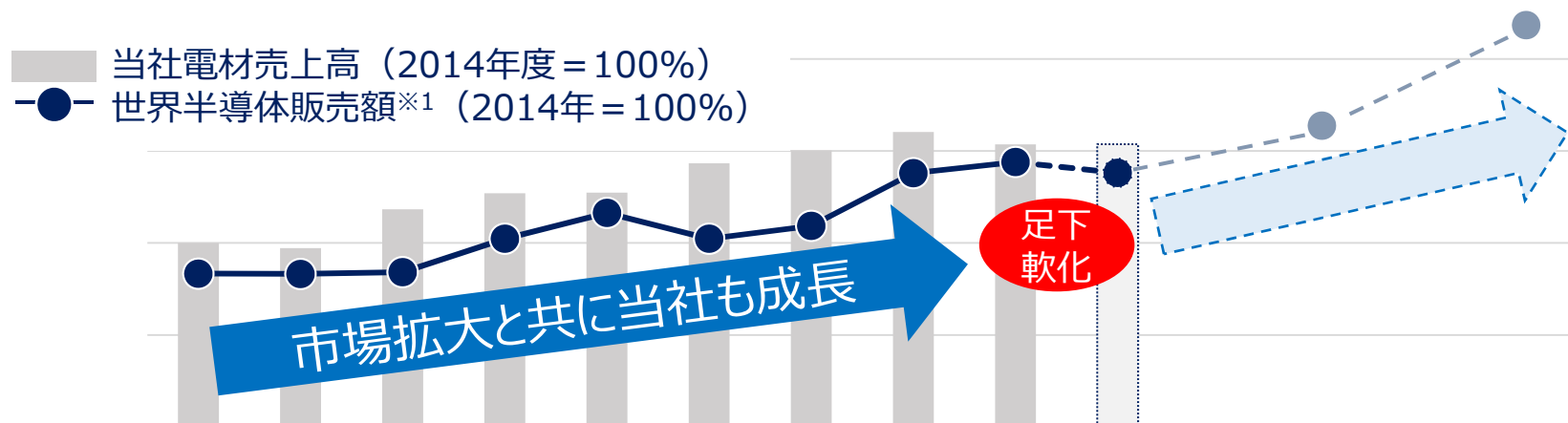
設備投資計画

55億円 (内、電子材料関連戦略投資：15億円)

方向性		主な方策	中経1年目 主な取り組み結果
電材分野	高純度・先端材料	重点投資による事業拡大	• 電子材料売上高4%減少 • 増産投資 計画通り進行中 Topics①
		先端材料分野の開発強化	• 半導体周辺材料向け新製品試作開始 • 開発リソース強化
Green分野	環境対応ケミカル	環境対応製品の拡販	• 溶剤回収用カイノール売上高30%増加 • 生産能力増強完了 • 生産ライン増設決定 (2025年度稼働予定) → Topics②
		LCA対応による環境負荷低減システム開発	• LCA評価方法設定完了
	高機能糖ケミカル	植物性ミルクの素などの高付加価値製品の拡販	• オーツミルクの素 販売開始も計画未達
		大学等外部機関とのアライアンス強化による糖ケミカル材料開発	• 化粧品原料 試作開始
経営基盤強化		サステナビリティを巡る課題への取り組み強化 従業員エンゲージメントの向上	• 東証プライム市場 上場基準適合 • ESG活動促進 → Topics③

足下の電子材料市況は軟化も中長期的には拡大傾向 市況回復・市場拡大に向け、設備・生産技術・研究開発を強化する

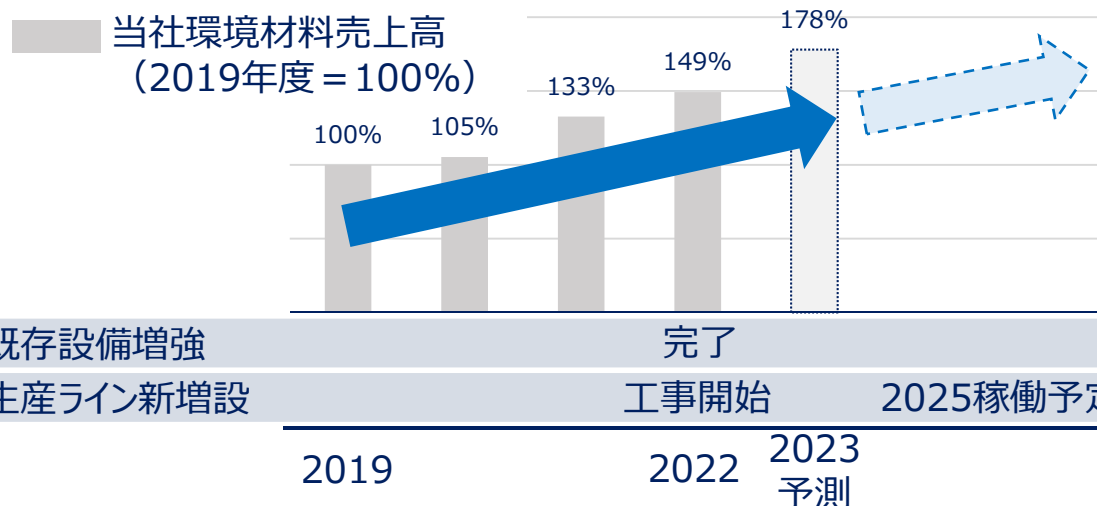
世界半導体市場と当社電子材料向け売上高・設備投資



※1 WSTS・経済産業省「半導体・デジタル戦略検討会議資料」より当社作成

カイノール生産ラインの増設を決定 2025年度稼働予定

環境材料向け売上高・設備投資



	投資額 能力向上	'24/3 1H	'24/3 2H	'25/3 1H	'25/3 2H	'26/3 1H
カイノール 生産ライン 増設	約16億円 約30%					

工事

試運転・認証

生産開始

E（環境）	S（社会）	G（統治）
・TCFDへの賛同と情報開示 ・実質CO2フリー電力の導入 （削減量約4千t-CO2e） ・CDP気候変動質問書2022 「B-」（マネジメントレベル） ・EcoVadis 「Bronze」（上位50%以上）	・イベント、パートナーシップ参加 SDGsぐんま連絡会議 高崎環境パートナーシップ会議 たかさき環境フェア ・当社製除菌液寄贈	・株式報酬制度導入 ・ITガバナンス強化 （群馬県警より感謝状 サイバー対策） ・人権方針制定 ・健康経営優良法人2023

Appendix

当社の用途と製品の特長について

用途			製品・技術・特徴など	主なユーザー
化学品セグメント	電子材料	電子材料	レジスト用ノボラック樹脂（トップシェア） 半導体周辺材料 高純度化技術 品質管理能力	レジストメーカー 半導体材料メーカー
	自動車 各種機械	工業材料	鋳物用バインダー「α system」 「β system」「NFURAN」など 高機能摩擦材用樹脂「ミレックス」 工業用フェノール樹脂「レチトップ」 ユーザー毎個別のカスタマイズ	鋳造メーカー ブレーキメーカー
	住宅 成形材料 その他工業用途			断熱材メーカー 成形部品メーカー 塗料メーカー
	環境・溶剤回収 航空宇宙 難燃繊維	環境材料	高機能繊維「カイノール」 真球状樹脂 フェノール樹脂繊維の特徴的性質	溶剤回収装置メーカー 航空機部品メーカー 防護服メーカー
食品セグメント	清涼飲料 菓子類	食品	澱粉糖製品群（異性化糖 など） ピュアトース（マルトトリオース）	飲料メーカー 菓子メーカー
	ビール系飲料 穀物ミルク		麦芽エキス製造技術 穀物糖化技術	飲料メーカー
	化粧品原料		糖誘導品	化粧品原料メーカー

群馬県高崎市

本社・技術開発センター
群馬工場
(化学品・食品製造)
高崎支店

滋賀工場
(化学品製造)

東北ユーロイド工業(株)
岩手県
化学品製造、受託製造

(株)ビッグトレーディング
群馬県
人材派遣

東京支店

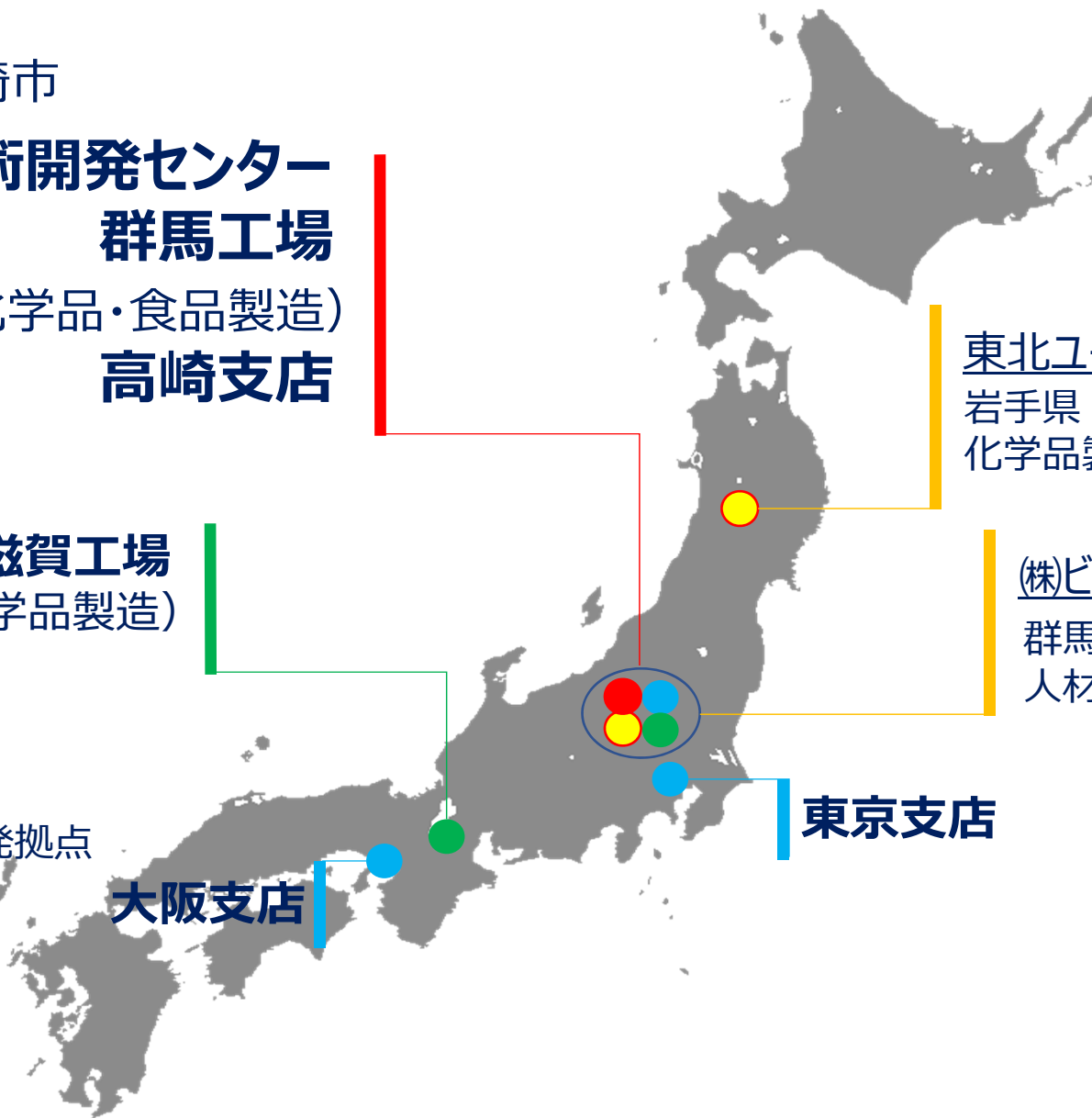
大阪支店

●: 本社・開発拠点

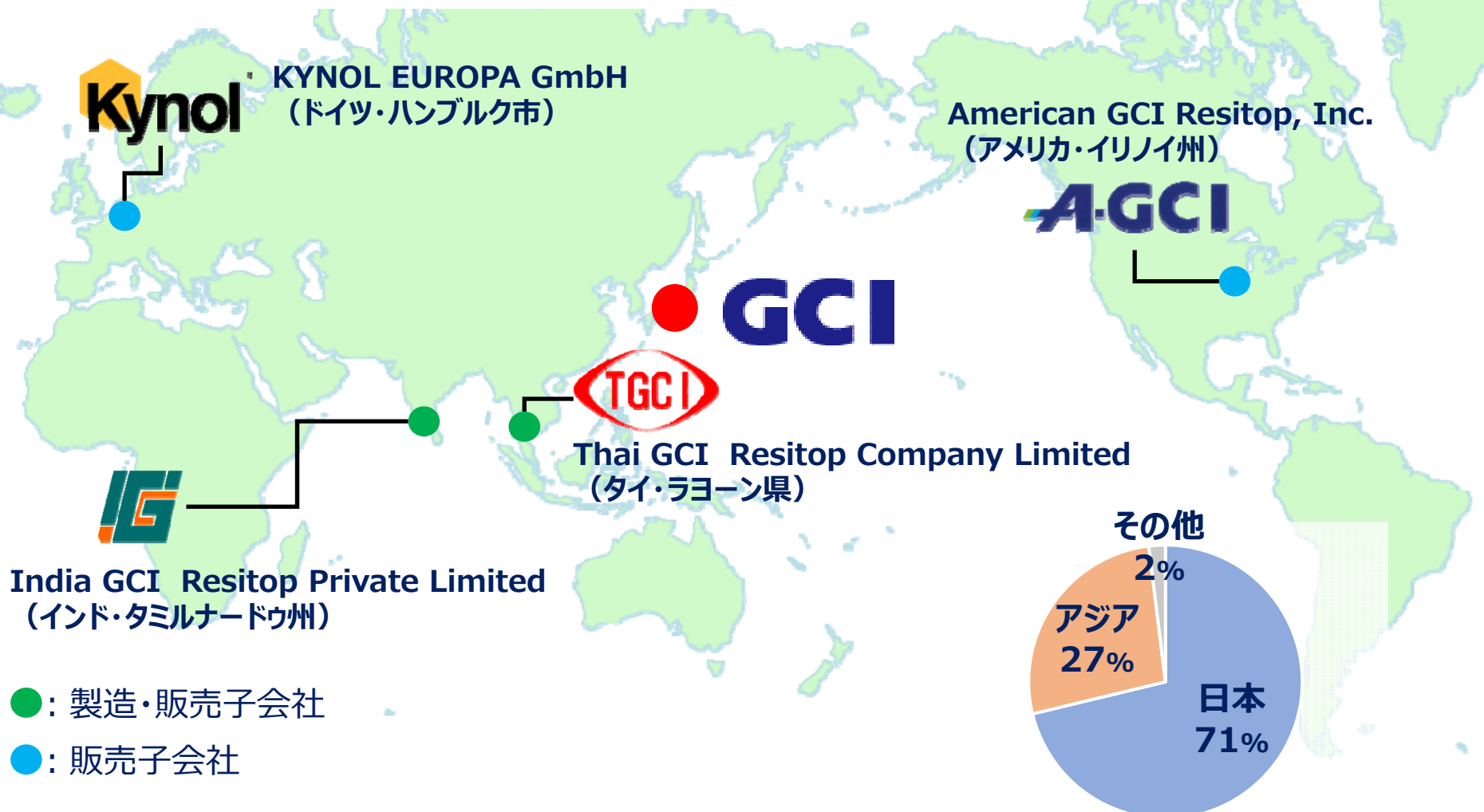
●: 製造拠点

●: 販売拠点

●: 子会社



グローバルに高品質な材料を
提案・供給できる環境を整備しております。



主要な経営指標等の推移

【 連結 】

回次 決算年月		第102期 2019年3月	第103期 2020年3月	第104期 2021年3月	第105期 2022年3月	第106期 2023年3月
売上高	(百万円)	27,636	26,983	25,194	29,406	31,390
経常利益	(百万円)	1,836	2,141	2,451	2,815	1,939
親会社株主に帰属する 当期純利益	(百万円)	1,176	1,370	1,607	1,929	1,201
包括利益	(百万円)	351	1,410	2,602	1,826	1,838
純資産額	(百万円)	41,746	42,020	43,750	44,889	46,107
総資産額	(百万円)	51,048	50,626	51,984	54,680	54,600
1株当たり 純資産額	(円)	5,813.59	6,014.34	6,367.01	6,550.74	6,723.36
1株当たり 当期純利益金額	(円)	169.77	198.93	242.06	291.13	181.26
自己資本比率	(%)	78.9	79.8	81.2	79.4	81.6
自己資本利益率	(%)	2.9	3.4	3.9	4.5	2.7
株価収益率	(倍)	15.2	12.3	10.5	10.3	14.3

＜見通しに関する注意事項＞

本資料の業績予想・見通しは資料作成時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、将来の計画数値、施策の実現を保証するものではありません。

問合せ先：コーポレート本部 IR担当

TEL: 027-353-1818（代表）